

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
他団体の交流事業への参加、協力	和歌山市青年団協議会	平成23年1月16日	松下体育館	10名、50名		50人	災害に備え、楽しみながら防災に関する知識を習得した。
独自の国際交流事業	海友会那賀ブロック	平成23年2月10～14日	韓国	3名、2名		2人	韓国へ青年を派遣
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	7月17～7月21日	鳥取市内	会員11名(1名)	1人		リトアニアとオースの青年24名を受入れ。鳥取県ではホームステイが中心のプログラムであった。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、とっとり青友会	10月16～17日	三朝町	35名(2名)		2人	中国ブロック大会を三朝町を会場に行った。町長さんの主催もいただき、中国ブロックの会員の親睦が深まり、次年度以降の見通しも持つことができた。
他団体の交流事業への参加、協力	とっとり青友会	10月8日、10月26日	鳥取市内	10名			JICA青年研修事業の受入れの準備委員会を行った。ホテルの手配や翻訳、バス、ホストファミリーなどの確認を行った。諸議の確立や協議についても進められた。
他団体の交流事業への参加、協力	JICA とっとり青友会	10月29日～11月10日	鳥取市内	20名(15名)	15人		JICA青年研修事業の受入れの準備委員会を行った。今年度はタイ王国より青少年育成の分野で15名の青年を受入れホームステイ(子どもプログラム)に組み入れた。
他団体の交流事業への参加、協力	(財)松江市国際交流協会、国際ネットワークしまね ほか	4月18日(日)	松江市国際交流会館	参加者150名、会員6名、一般20名(内外国人100名)	100人	20人	松江市内の大学などで勉強に励む留学生とその家族を経済支援を目的に、松江市民と留学生との交流を回り、相互理解を深めることができた。
他団体の交流事業への参加、協力	島根大学	12月11日	島根大学	2名			島根大学の留学生との交流会へ参加
他団体の交流事業への参加、協力	島根大学	平成23年1月18日	島根大学	1名			島根大学主催による、島根大学留学生支援に関わる協議会開催
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	国際ネットワークしまね	平成23年2月15～20日	県庁会議室	12名			平成22年度「青年社会活動コーディネーター育成プログラム」
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	7月13(火)～17日(土)	岡山プラザホテル等	会員16名・地元青年16名・海外青年24名・東京スタッフ24名		20人	岡山県庁訪問、歓迎会、後楽園散策、倉敷市立老松小学校訪問、三菱自動車工場水島製作所見学、箭田地区訪問、交流食事会、テーマ別視察、ディスカッション、プレゼンテーション、昼食評価会、鳥取プログラムへ。
他団体へ交流事業への参加、協力	広島県庁	7月20(月)～29日(水)	広島県内各地	3名			広島県庁主催の『国際交流コース in HIROSHIMA』に広島県青年国際交流機構を代表して会長が主催者の一員として事前の会議に出席した。また、実際のプログラムなどへ広島県青年国際交流機構からも参加し、地元自治体である広島県庁、地域のホストファミリー団体(広島県ホームステイ協会)などと一緒に活動して
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	11月17～21日	広島県内	約50名			中国青年の受入れを行った。
独自の国際交流事業	柳井国際交流機構、山口青年国際交流機構柳井支部	7月29日(木)～8月2日(月)	柳井市	90名(8名)	8人		ホームステイ、企業見学、観光地見学、体験学習、交流会など、日韓親善協会、ロータリークラブなどと共催で行なった。
他団体の交流事業への参加、協力	山口県	11月1日	宇部市	会員1名 生徒500名		500人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。
他団体の交流事業への参加、協力	山口県	11月22日	山口市	会員1名 児童60名		60人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。
他団体の交流事業への参加、協力	山口県	平成23年1月14日	山口市	会員1名 生徒120名		120人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。
他団体の交流事業への参加、協力	アジアカレッジ実行委員会	平成23年2月19～25日	山口市	20名			独自事業として「慶南青年カレッジ」招へいと訪韓。
他団体の交流事業への参加、協力	小松島市	7月18日(土) 16:30-	小松島市金長だめき公園	会員2名 一般約700名(うち外国人約50名)	50人	650人	小松島市の夏の最大イベント「港まつり」の中で、「外国人阿波おどりコンテスト」開催のスタッフとして、コンテストの円滑な運営の手伝いをした。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	徳島県青年国際交流機構	10月28(木)～10月31日(日)	県内各地	会員13名、県担当者2名、一般15名、ホストファミリー14家		15人	平成22年度「東南アジア青年の船」事業地方プログラム受入れを行い、アセアン加盟11カ国、30名の日本、外国青年の徳島でのプログラムをアレンジした。
独自の国際交流事業	徳島県青年国際交流機構	平成23年1月23日(日) 10:00～17:00	徳島県鳴門市	会員12名 県外IYEO会員4名 一般21名(うち外国人)	6人	15人	在県外国人との親睦を目的として、牡蠣焼きパーティーを開催した。今回は県外IYEOからも多数会員の参加があった。外国人だけでなく県外IYEO会員とも交流ができ参加者に好評であった。
四国ブロック大会&帰国報告会	香川県青年国際交流機構	7月3(土)～7月4日(日)	国民宿舎小豆島	会員37名、一般11名		11人	平成23年度青少年国際交流を考える集い「四国ブロック大会」を開催した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	香川県青年国際交流機構	平成22年12月27日	香川大学教育学部	会員1名、一般25名		25人	平成22年度「第23回世界青年の船」事業地方プログラムディスカッション参加青年を対象に、内閣府青年国際交流事業の広報を実施した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	香川県青年国際交流機構	平成23年1月13～1月16日	亀草小学校 香川大学 高松国際ホテル	会員12名、一般109名		109人	平成22年度「第23回世界青年の船」事業地方プログラム受入れを行った。
事業報告会 最終試験対策会	愛媛県青年国際交流機構	5月8日(土)	コムズ4階 和室	会員9名 一般8名		8人	平成22年度の事業参加希望者を対象とした最終選考対策会を開催した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	愛媛県青年国際交流機構	11月11～11月14日	西条市他	日韓交流参加者36名 IYEO実行委員9名		24人	「日本・韓国青年親善交流」事業の地方プログラム受入れを行った。西条市の小学校他訪問、ホームステイ、歓迎会、表敬訪問など
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	高知県青年国際交流機構	10月28～31日	県内各地	東ア船参加者29名 実行委員10名			「東南アジア青年の船」事業地方プログラム受入れを行った。学校訪問、書道体験、ホームステイ、歓迎会、表敬訪問など
他団体の国際交流事業への参加、協力	高知希望工程基金	11月7日	高知市桂浜荘	JICA中国人研修生25名、会員2名	25人		高知県内のNGO団体希望工程基金の主催する、中国人研修生の受入れに参加し、ディスカッションなどを通して交流した。
バヌアツの情報収集のための講演会	福岡県青年国際交流機構	12月5日(日)	ホテルレガロ	会員9名、一般30名、計39名		30人	JICA OBの方によるバヌアツ派遣体験談の講演会を行った。当日は、会員、ローカルユース、ホストファミリーの皆さんが参加し、言語、文化、食といった異文化理解を深めることができた。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	福岡県青年国際交流機構	平成23年1月13～1月16日	ホテルレガロ、福岡県庁、キャナルシティ、アイランドシティ中央公園(NPO循環生活研究所)	実行委員12名(うち会員9名)、ローカルユース20名(うち会員1名)、ホストファミリー21名(うち会員4名) 通訳1名、県庁職		39人	「世界青年の船」事業(バヌアツ)受入れ。10月から実行委員会を立ち上げ、月に2回ペース集まり準備をした。2日目に循環生活をテーマにNPOの講演を聞き、畑を視察し、午後にはそのテーマでディスカッションを行った。そして夜に歓迎会を開きホストファミリーに引き継いだ。大きなトラブルもなく、青年たちの評判も良かった。
他団体へ交流事業への参加、協力	佐賀県青少年県民育成会議	5月12日	メートプラザ	会員1名			佐賀県内の青少年育成団体のネットワークである会に、佐賀IYEOより理事として参加している。
他団体へ交流事業への参加、協力	佐賀県青年国際交流協会	9月19日	アバンセ	7名 会員6名/一般1名		1人	第22回「世界青年の船」事業のOB・OGが主となり、企画。会員の参加当時の思い出の写真や、UAEからお菓子から珍しいお土産まで準備から人気を集めた。
独自の国際交流事業	佐賀県青年国際交流機構、愛未来	11月21日	佐賀市 アイスクエア、ビル	会員5名、一般19名(外国人3名)	3人	16人	スリランカ支援のNPO法人、愛未来と佐賀県青年国際交流機構との共催でスリランカNGO団体MCCN代表による活動報告及び地元在住スリランカ留学生と一般の方との交流会を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、長崎県青年国際	10月1日～2日	セントヒル長崎(長崎市)/軍艦島	60名 9名(1名)/地域理解研修17名 5名(1名)	1人	8人	IYEO九州ブロック大会(青少年国際交流を考える集い)を開催した。終了後、地域理解研修として、「軍艦島クルーズ」を実施した。
内閣府青年国際交流事業	内閣府	平成23年1月13日～16日	長崎県庁 長崎歴史文化博物館 原爆資料館 のぞみ会館(諫早市) 長崎空港	13日/7名 28名(22) 14日/13名 46名(22) 16日/4名 26名(22)			地方プログラム受入れ(出迎え及び表敬訪問、施設参観)(施設訪問、討論交流会、歓迎会)(見送り)
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	平成23年2月15(火)～20日(日)		11名			平成22年度第6回「青年社会活動コーディネーター育成プログラム」(青少年)受入れ。行政及び地元NPOの視察を始め、訪問先のスタッフや利用者との交流や意見交換を行うことができた。19日に開催されたセミナーでは熊本在住の学生も多く参加し、視察先のスタッフや利用者の方も出席。大変有意義なプログラムとなった。
独自の国際交流事業	大分県青年国際交流機構	4月8日(木)	大分市コンパルホール	15名(5)	5人		平成23年1月6日～10日の間、タイ王国・バンナーを訪問し大分県の子供達から預かった支援物資を現地の子供達に手渡す活動の第1回実行委員会(毎月1回開)
独自の国際交流事業	大分県青年国際交流機構	10月1日 12月13日	大分市 コンパルホール	会員15名			平成23年1月6日～10日の間、タイ王国・バンナーを訪問し大分県の子供達から預かった支援物資を現地の子供達に手渡す活動の第2回実行委員会
独自の国際交流事業	大分県青年国際交流機構	1月6～1月10日	タイ王国 ミャンマー	会員10名 一般8名		8人	タイ王国、ミャンマーを訪問し、支援物資を現地の子供達に手渡す活動を実施。(小学校、女子職業訓練校、日本大使館など訪問)。1/13大分県知事へ帰国、活動実施報告。
独自の国際交流事業	宮崎県青年国際交流機構 延岡市歯科医師会	5月13日(木)～5月16日(日)	歯科医師会館ほか	会員2名 フリビリン訪問団:28名 通訳ボランティア:8名	28人	8人	・フリビリン歯科医師会及びその家族28名の受入れを行った。 ・フリビリン歯科医師会バタガス支部と延岡市歯科医師会の姉妹歯科医師会のお手伝いを行った。 ・フリビリンと宮崎の交流の輪が広がった。
独自の国際交流事業	宮崎県青年国際交流機構	5月29日(土)18:00-21:00	鳥の里	会員7名 県文化文芸国際課:1名 外国人:1名(コロンビア)	1人		・コロンビア人のデシーさんをお招きして講演会を行い、コロンビアについての理解を深めた。 ・「宮崎に人のお話を聞いて役に立ちたい」という志の下、女性消防士として活躍するデシーさんのお話を聞いて、深い感銘を受けた。

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、 一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
独自の国際交流事業	宮崎県青年国際交流機構	11月18日(木)	宮崎市大淀公民館	参加者:8名 会員:2名 外国人:1名 講師:1名	1人	6人	・世界の歌やレクリエーションソングを小宮路先生に指導していただいた。 ・国境を超えて楽しめる手遊び歌などを学んだ。 ・タンザニア出身のゲストにスワヒリ語で「おじいさんの古時計」を歌ってもらい、歌の指導をしていただいた。
他団体の交流事業への 参加、協力	宮崎県青少年団体連絡協議会	平成23年2月20日(日) 13:00-16:00	宮崎市橋通一番街	参加者:100名 会員:2名		198人	・市民に外国文化に接する機会を提供した。 ・宮崎県内14の青少年団体と共同で企画・実施した。 ・ドイツ、タンザニアについての理解を深めた。 ・市民と外国人ゲストとの交流を深めた。 ・内閣府事業、日本青年国際交流機構、宮崎県青年国際交流機構等の広報を行った。
独自の国際交流事業	宮崎県青年国際交流機構	平成23年3月13日(日) 14:00-16:00	宮崎市民プラザ	参加者:10名 会員:5名		10人	・平成23年度内閣府事業の紹介を行った。 ・平成22年度内閣府事業参加者の報告会を行った。 ・オーストラリアについての理解を深めた。 ・参加者と外国人ゲストとの交流を深めた。
内閣府青年国際交流事業 の 地方プログラム受入れ	沖縄県青年国際交流機構	平成23年2月27日	若狭小学校, 首里城	会員21名、一般63 名 SWY23参加青年 204名		63人	フリータイムを利用し、沖縄県青年国際交流機構にてオプショナルツアーを企画。希望者を①空手体験、②料理体験、③鳥ぞりカービング、④首里城ツアーにそれぞれ案内し、会員含め沖縄県内在住の国際交流に興味のある一般ボランティアの方も一緒に交流を行う。

902人

9,414人

都道府県における事後活動組織の活動状況(平成23年度)

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員: 委員、一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	北海道IYEO	平成23年度 5月28日(土)	和み亭 (会員経営)	会員7名 一般2名		6人	一般の国際交流事業に興味がある方と委員との交流会。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	平成23年度 8月20日(土)	Cafe&Bar ROGA	会員2名 一般2名		2人	海外経験だけでなく、社会人としての経験なども交えて学生とトークを行うイベント。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	平成23年度 10月22日(土)	Cafe&Bar ROGA	会員7名 一般6名		6人	海外経験だけでなく、社会人としての経験なども交えて学生とトークを行うイベント。
他団体へ交流事業の参加、協力	中日友好国際映画祭事務局	10月24日(月)~ 27日(木)	札幌シネマフロントシアター 札幌グランドホテル	会員 2名			中日友好国際映画祭が初めて北海道でも開催されることになり、当日運営や中国人監督・俳優との交流のためのボランティアに会員が参加。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	11月12日(土)	札幌エルプラザ	会員 5名 一般 11名(4名)	4人	7人	北海道大学の中国人留学生といっしょにキョウガや中華料理を作りながら、中国のことや国際交流についてトーク。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	12月17日(土)	Cafe&Bar ROGA	会員 6名 一般 5名		5人	大学生と海外経験豊富な人などがつなげる機会をつくるイベント。国際交流経験・社会経験の豊富なゲストを招き、札幌駅近郊のカフェでトーク。
他団体へ交流事業の参加、協力	北海道高等学校 ユネスコ連絡協議会	1月9日(月)	札幌観光プラザ 製菓専門学校	会員 2名			「大学生が高校生に伝える国際交流」という分科会にて、北海道IYEO会長の講師を務めた。大学生の代表として、今年度からの新会員が参加。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	1月21日(土)	札幌若者支援 総合センター	会員 4名 一般 4名(1名)	1人	3人	青年海外協力隊でマダガスカルに滞在されていた日本人とマダガスカル人の夫を講師に迎え、マダガスカル料理を習いながら現地での暮らしなどの話を聞いた。
他団体へ交流事業の参加、協力	北海道国際交流センター (HIF)	2月12日(日)	函館市青年センター	会員 1名 一般 12名		12人	北海道国際交流センター(HIF)主催の国際交流プログラム紹介のイベントにおいて、内閣府青年国際交流事業の紹介をさせていただいた。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	2月18日(土)	Cafe&Bar ROGA				大学生と海外経験豊富な人などがつなげる機会をつくるイベント。国際交流経験・社会経験の豊富なゲストを招き、札幌駅近郊のカフェでトーク。
その他	NPO法人ハロー・ドリーム 実行委員会	1月21日	文化観光交流施設 ふぶのの家「フ・ラッセ」 多目的室(2)	55人		55人	家庭や職場でお互いの笑顔を引き出し、関係を良くするコミュニケーションの方法を紹介する体験型の講座です。(SWY8NL 本間正人講師)
独自国際交流活動	岩手県青年国際交流機構	8月1日(月)	盛岡市中央通	40名 (うち一般3名うち外国人1名)	1人	2人	震災支援活動の一環である賛切バスツアーに組み込んだ活動。盛岡市の夏祭り「さんま祭り」への参加。
他団体へ交流事業の参加、協力	岩手県青少年会館 岩手県青少年育成県民会議	9月4日(日)	岩手県青少年会館	4名(うち一般2名)	2人	2人	親子ふれあい広場「観武が原まつり」への参加、協力。
他団体へ交流事業の参加、協力	岩手県青少年会館 岩手県青少年育成県民会議	10月8日(土)	岩手山青少年交流の家	2名			岩手県青年国際交流機構の活動報告。
その他	岩手県青年国際交流機構	3月14日(月)~	都度	都度			3月11日の東日本大震災に関する支援活動(炊き出し、支援物資調達・配布、清掃、IYEO相談カフェ、田野畑村支援活動)
その他	岩手IYEO	10/15, 11/12, 12/10, 12/11	陸前高田市、大船渡市、盛岡市、田野畑村 (のべ6か所)	会員のべ22名			心のゆとり時間・空間、語りの場の提供として6月から実施し現在まで計18回(内3回は他団体と連携)。今後は現地の方々や他団体と連携し、支援から協働へと展開する。
その他	いわて県民情報交流 センター	10月22日(土)	盛岡市 アイーナ	会員4名 (一般会場500名)		500人	ハガーに出店(全3回)、売り上げの一部は支援金として寄付、一部は活動資金とする。
事業報告、説明、及び他団体の交流事業への参加、協力	(財)岩手県青少年会館	平成23年2月10日	岩手県青少年会館	会員3名 (参加者約70名)		70人	県内で活動する青少年団体会し、活動報告および情報交換を行い、青少年活動の活性化、協力体制の強化への糸口を探る。知事を開会しての親睦会を交流する。
青少年国際交流を考える集い	及川留太郎ブロック監事	(予定)平成24年2月18 ~19日	塩釜	約30名			ブロック内での情報交換、および活動の推進、連携強化、親睦をはかる。
独自の国際交流事業	岩手IYEO	(予定) 平成24年3月10日	盛岡市 アイーナ	(見込み)会員一般 計50名(うち 外国人4名)	4人	46人	県内在住市民、外国人を招き、交流と相互理解、ネットワークの構築を図る。また機構の広報にもつなげる。
東日本大震災復興支援	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	3月19日	浦戸諸島桂島① (避難所約200名)	会員 1名			支援物資届けた(SWY13メンバー-全国IYEO会員の協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月26日	社会福祉法人聖特会 共生型グループホームさくら おか	会員 2名、一般2名		2人	支援物資届けた(SWY13メンバー-全国IYEO会員の協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月27日	浦戸諸島桂島②	会員 1名			支援物資届けた(SWY13メンバー-全国IYEO会員の協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月28日	NPO法人自閉症ピアソ ンクセンター 「ここねっと」	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	3月31日	浦戸諸島桂島③	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月31日	石巻市立病院①	会員5名、一般3名		3人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月3日	石巻市立病院② 石巻市内施設避難所 南三陸町再発ボランティ アネットワーク	会員3名、山形IYEO2名、一般2名		2人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月10日	石巻市立病院③ 石巻市立避難所	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月16日	石巻市立病院④	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	4月17日	浦戸諸島桂島④	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月23日	石巻市立病院⑤	会員1名、山形IYEO1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月24日	浦戸諸島桂島⑤	会員1名、山形IYEO1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなひのたねネットワーク	4月29日	浦戸諸島桂島⑥	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月1日	石巻市立病院⑥	会員 1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月7日	石巻市立病院⑦	会員1名、一般2名		2人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月15日	石巻市立病院⑧	会員3名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月19日	女川町立女川第二小学校	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月28日	石巻市立病院⑨	会員2名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月31日	女川町立女川第二小学校	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月4日	石巻市立病院⑩	会員 1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなひのたねネットワーク	6月5日	浦戸諸島桂島⑦	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月8日	石巻市立病院⑪	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月11日	石巻市立病院⑫	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなひのたねネットワーク	6月13日	浦戸諸島桂島⑧	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月18日	石巻市立病院⑬	会員1名、岩手IYEO1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
他団体へ交流事業参加・協力	宮城青年会議	6月19日	宮城県青年会館	会員2名			宮城青年会議の総会に参加した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月22日	石巻市立病院⑭	会員2名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月26日	石巻市立病院⑮	会員2名、山形IYEO1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	浦戸桂島復興実行委員会	6月29日	浦戸諸島桂島⑨	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	浦戸桂島復興実行委員会	7月13日	浦戸諸島桂島⑩	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	7月26日	石巻市立病院⑯	会員2名、一般2名		4人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	7月30日 ~31日	石巻市立病院⑰	会員3名、山形IYEO3名、一般42名		40人	「ワンコングレ」を実施した。石巻市立病院、牡鹿病院、雄勝病院のスタッフと家族を米沢市白布温泉へ連れていった。(山形IYEOの全面協力、IYEO&大阪IYEOより支援金)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	8月6日 ~7日	石巻市立病院⑱	会員3名、山形IYEO3名、一般40名		40人	「ワンコングレ」を実施した。石巻市立病院、牡鹿病院、雄勝病院のスタッフと家族を米沢市白布温泉へ連れていった。(山形IYEOの全面協力、IYEO&大阪IYEOより支援金)。
東日本大震災復興支援	浦戸桂島復興実行委員会	8月13日 ~14日	浦戸諸島桂島⑪	会員1名、三重IYEO1名、一般16名		16人	復興実行委員会を手伝った。学生ボランティアをつないだ。
他団体へ交流事業参加・協力	宮城青年会議	8月27日	宮城県青年会館	会員2名			宮城青年会議の今後の在り方を話し合った。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	9月10日	石巻市立病院⑲	会員2名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
他団体へ交流事業参加・協力	青少年のための宮城県民会議	9月21日	仙台市立東華中学校	会員1名			宮城県少年の主張の審査員をした。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなひのたねネットワーク	9月25日	浦戸諸島桂島⑫	会員1名、一般3名、外国人5名	5人	3人	会員の紹介で、タイESDの研究者、実践者を紹介した。島内視察を行った。
他団体へ交流事業参加・協力	山形県青年国際交流機構	10月15日~16日	山形県米沢市	会員4名、一般4名		4人	ブロック大会に参加し、復興支援活動を報告した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	10月22日	石巻市内	会員2名、東京IYEO1名			物資届けた。東京IYEO会員(SWY24NL)を被災地を案内した。
他団体へ交流事業参加・協力	宮城青年会議	11月10日	福島県飯野町(飯館村仮 仮設)	会員3名、SWY24参加者1名、一般14 名		14人	飯館村菅野村長の講演を聞きに行く。IYEO会員佐藤潤一さんと会う。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	11月12日	石巻市内	会員2名、山形IYEO1名、一般1 名			支援物資届けた(埼玉IYEOの支援金)。被災地を案内した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	11月13日	浦戸諸島桂島⑫	会員2名、山形IYEO1名、一般1 名			被災地を案内した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	1月6日	石巻市立病院⑳ 仮設住宅	会員2名			支援物資届けた。仮設住宅での健康相談会の活動を見学した。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城青年会議	2月4日	市民会館	会員1名			宮城県内の青年団体連携の在り方を考える会に参加した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月17-18日	山形県米沢市	宮城県員3名、山形会員3名、一 般(被災者)25名		25人	「ワンコングレ」を実施した。石巻市立病院、牡鹿病院、雄勝病院のスタッフと家族を米沢市白布温泉へ連れていった。(山形IYEOの全面協力、IYEOより支援金)。
その他	山形県IYEO	平成23年4月9日 (土)	宮城県亶理町	IYEO会員2名			亶理町へ支援物資運搬
その他	山形県IYEO	平成23年4月10日 (日)	宮城県石巻市	IYEO会員2名			石巻市立病院へ食糧支援
その他	山形県IYEO	平成23年4月16日 (土)	宮城県石巻市	IYEO会員2名			石巻市立病院へ食糧支援
その他	山形県IYEO	平成23年4月23日 (土)	宮城県石巻市	IYEO会員1名			石巻市立病院へ食糧支援
その他	山形県IYEO	平成23年4月24日 (日)	宮城県塩竈市 浦戸桂島	IYEO会員1名			塩竈市浦戸桂島へ食糧支援(支援金に追加)
その他	山形県IYEO	平成23年6月11日 (土)	宮城県石巻市	IYEO会員1名			石巻市立病院へ支援物資 石巻市門脇中学校で児童と交流 石巻市浅小小学校で児童と交流
その他	山形県IYEO	平成23年6月17日 (金)	福島県	IYEO会員1名			被災者向けBBQ大会への食事提供

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員: 会員、 一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
その他	山形県IYEO	平成23年7月2日(土)	岩手県田野畑村	IYEO会員1名			田野畑村応援プロジェクトへの参加。食糧支援。
その他	山形県IYEO	平成23年7月30日(土)・31日(日)	山形県米沢市	IYEO会員2名			石巻被災者米沢ツアーへの協力
その他	山形県IYEO	平成23年8月5日(金)・6日(土)	山形県米沢市	IYEO会員2名			石巻被災者米沢ツアーへの協力
他団体の交流事業への参加、協力	山形県IYEO、ふくしま子どもの日本語ネットワーク、日本国際児童図書評議会(JBBY)、東北こども支援プロジェクト	10月10日(月・祝)	米沢市 置間総合文化センター、北村公園	IYEO会員5人 一般70名 (うち外国人31人)	31人	39人	主に福島の方を中心として、日本に住む日本語を母語としない子どもたちと、そうした子どもと仲よくなりたい日本の子どもたちを対象にグループでの音読体験及び芋煮会。
青少年国際交流を考える集い	内閣府、IYEO、推進センター、山形県IYEO	10月15日(土)～16日(日)	米沢市 小野川温泉 河鹿荘	58人			「なぜばなる 未来への絆 今、自分たちにできること ～愛と義のまち米沢からの発信～」をテーマに、被災者同士に取り組むボランティア団体やIYEOの活動事例を紹介、参加者同士がお互いの地域での活動等を共有することを通じて、国際交流活動等において、参加者自身それぞれが「何が出来るか」「何をしたいか」を考えたい。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	1月20日(金)～23日(月)	庄内町	IYEO会員9人			第24回世界青年の船地方プログラムで、エジプトとベネズエラの青年計21人を受入。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年 (3月23日・26日・31日)・ 4月7日・12日・20日	送付先: いわき市NPO法人ザ・ビープル	会員: 3人			福島市の地域住民から提供されたものや購入した支援物資を、日ごろから当会と交流のあいいわき市の「NPO法人ザ・ビープル」さんをおしていわき市の避難所に提供。 IYEO本部の皆さんのご協力により、全国の会員の皆さんからも直接、いわき市にたくさん支援物資を送っていただいた。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年 (3月23日)・ 4月2日(土)	提供先: 福島県立明成高校避難所(福島市)、東和町の避難所	会員: 2人			各避難所で必要なものを聞き取り、購入して持参。 東和町の避難所で必要とされていた体温計と血圧計の不足分は、メーカーの情報を避難所に提供。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月9日(土)	提供先: 相馬市原金幼稚園、 新地町教育委員会	会員: 2人			原金幼稚園からの支援要請を受けて、必要な物資を提供。 相馬市の北隣の新地町も、津波の被害が甚大で、学校や町役場自体も被災し、必要な学習用品を教育委員会に提供した。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月10日	飯館村、二本松市	会員: 2名 IYEO本部役員: 2名			飯館村の避難者が多く、全村避難した飯館村を心配し、IYEOの役員の皆さんが来訪した。そのお見舞い物資の輸送をした。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年 4月18日・25日・ 5月5日・12日	福島市立飯坂小学校、 相馬市立中村第二小学校	会員: 2人			学校及び被災された方から必要な品物と数を聞き取り、IYEOネット及び支那科学省の子どもたちの学び支援ポータルサイトの協力を得て、物資を集めて提供。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月21日(木)	福島市立清明小学校	会員: 1人			小学生の黄色い帽子をタイに送るYellow Hat Projectで交流のあるASSEAY Thailandからいただいた義援金で、黄色い帽子回収でお世話になった小学校に通った被災児童にノートを提供。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月16日、21日、30日、5月4日、9日、20日、25日、31日、6月4日、6日、17日、18日、7月2日、17日、20日、24日、8月4日、18日、25日	あづま総合運動公園避難所(福島市)	会員: 4人 一般: 毎回平均10人		数十名	週に1回の割合で、避難所にいる約700人に副食を提供。私たちがこころ行っている国際交流の経験を活かし人間関係作りを努め、被災された方と一緒に炊き出しをする事によって、よきまねの協力が出来るように心がけた。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年6月17日、7月19日、7月21日、9月17日	あづま総合運動公園避難所(福島市)、福島市立第四小学校、福島市立湯野小学校、会津若松市北公民館	会員: 1人			大阪府青年国際交流機構さんから頂いたメッセージ入りのうわを避難所、小学校、震災復興イベント会場で配布。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年6月28日 販売及び雑巾縫いは随時	あづま総合運動公園(福島市)、南相馬市、福島市	会員: 1名 一般: 20名		20人	全国からいただいたタオルを、被災者の皆さんに雑巾にしていたら販売。8月28日、あづま総合運動公園の避難所(福島市)の皆さんと初めて雑巾を縫った。現在は雑巾を買い取り、現金収入してもらっている。小学生や中学生が学校に持っていき雑巾のサイズに作り、2枚100円以上で販売し。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年10月10日(月)	いわき市	会員: 1名 一般: 5名		5人	本年度の東南アジア青年の船の参加青年2名が、ナショナルプレゼンテーションで東日本大震災をテーマに発表するために、被災地の若者にインタビューを実施した。そのインタビューの設定及び案内をした。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	10月26日(水)～31日(月) (5泊6日)	大森小学校、 渡利小学校、 福島大学、 立子山自然の家(福島市)	スタッフ: 会員7人、一般: 23人(外国人13人)、 参加者: 一般: 20人(外国人3人)、 大森小学校児童370人、渡利小学校児童120人	16人	517人	福島県内の児童生徒学生に、多様な文化、多様な価値観を体験する機会を提供することを目的に、10国10名の外国青年とともに、小学校2校で国際理解講座と福島大学で相互理解のディスカッションを実施。合宿による共同作業を通して意見交換及び交流。ホームステイ。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	平成23年12月4日(日)	福島市杉妻学習センター(福島市)	会員: 5人、 一般: 2人		2人	同窓会組織でもある船と翼の会ふくしまの持つリソースや強みを活かし、どんな社会貢献ができるのかを話し合った。国際交流活動を通して抱いたさまざまな夢のために、仲間が集まってネットワークを作れば、不可能なミッションも可能になることを信じ、「カールマン」の児童福祉施設の支援をIYEOやカールマンの同窓会組織のネットワークで行いたい。という一員員の夢に、私たちがはどのような応援できるかを、具体的な事例として考えました。
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク(福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA 二本松、)	平成23年12月10日(土)	JICA 二本松訓練所(二本松市)	会員1人 全体参加者: 100人		99人	交流会場で、当会及び内閣府の事業を紹介するブースを出展。国際交流に關心が高い参加者たちに会のPR及び次年度以降の派遣事業への参加者を募った。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	随時継続中	雑巾買取: 福島市、 南相馬市、三春町 雑巾販売: 山形県米沢市、 和歌山県、福島市他	-			全国からいただいたタオルで、被災者の皆さんに雑巾を作ってもらい、2枚100円以上で販売。以前炊き出しの支援で知り合い、現在は南相馬市、三春町、福島市の借上げ住宅や仮設住宅にお住まいの方に製作を依頼し、買い取り販売している。IYEOプロック大会、全国大会、各県IYEO、福島市内NGO事務所等で販売に協力してもらっている。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	平成23年10月15日 ～現在継続中	-	会員: 5人 一般: 多数		多数	福島・タイ交流プログラムでお世話になっているASSEAY Thailandに福島からメールを送りたいと思い、募金活動を実施。来年度「夢企画～福島・タイ交流プログラム」で直接タイのメンバーに贈呈予定。募金目標金額100,000円。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしまASSEAY Thailand	通年	福島県内 及びタイ国内	-			福島県内のNGO「明るい社会づくり運動協議会」「ふくしま地球市民ネットワーク」や県内の小学校の協力のもと、使い終わった小学1年生の黄色い帽子を回収し、タイの小學生に贈呈する事業。協力各校で、黄色い帽子を回収してもらった。児童のボランティア活動として児童主体で帽子を回収した学校もあった。
内閣府青年国際交流事業 の地方プログラム受入	内閣府	平成23年10月27日(木)～30日(日)	栃木県公館、栃木県庁、コンセルシ、宇都宮大学、宇都宮グランドホテル	会員: 9名 一般: 61名		61人	東南アジア青年の船地方プログラム受入れにて、栃木県庁表敬訪問、地元青年との交流ディスカッション、歓迎セレブレーション及び2泊3日のホームステイを行った。
青少年国際交流を考える集い	伊香保町	1月14日(日)～15日(日)	伊香保町	9人、1人		1人	大会当日
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉連	6月22日	県北浦和庁舎	会員: 1名			昨年度の活動報告、意見交換を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	いきいき埼玉	7月14日	埼玉県県民活動総合センター	会員: 1名			昨年度の活動報告、意見交換を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉連	10月12日	県北浦和庁舎	会員: 1名			加盟団体の活動報告、意見交換を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉連	1月25日	県北浦和庁舎	会員: 1名			研修会に向けた最終打ち合わせ。来年度の活動に向けた活動確認
#REF!	埼玉県青少年団体連絡協議会	2月4日	浦和ワシントンホテル	会員: 3			研修会及び交流会。12団体の活動紹介あり。
その他	千葉・埼玉IYEO有志	平成23年5月7日	都立夢の島公園 パーベキュー場	103人(内訳不明)			東日本大震災被災地支援のためのチャリティパーベキュー
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成23年9月3日(土)	お茶ノ水・スクール・オブ・ビジネス	会員: 27名(うち外国人1名) 一般: 7名(うち外国人4名)	4人	3人	会員のための英語ディスカッション講座。外国人5名を含む34名が参加。講師は世界17回サマソンの村本由香さんとそのパートナーのロイスさん。異文化理解をテーマにディスカッションを行いました。「文化は何か?」「どう基本的な内容か?」「外国人との異文化理解を第三者の日本人としてどう見えるか?」「例: 嫁の中国人とインド人のカラーの匂いに対するトラブルの記事に対して日本としてどうとらえるか?」など、より専門的なディスカッションを英語で行った。既参加青年より最後にこれから事業に臨む人に向けたワンポイントアドバイスをしてもらった。
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成23年10月15日(土)	お茶ノ水・スクール・オブ・ビジネス	会員: 15名(うち外国人1名)	1人		会員のための英語ディスカッション講座。講師はDamon Irvineさん(第11・17回(NL)世界船)。テーマは「幸せって何?」でした。まずはアイスブレイクで緊張をほぐし、小グループを作ってディスカッション。幸せの物差しについてあらためて考えた。既参加青年より最後にこれからは事業に臨む人に向けたワンポイントアドバイスをしてもらった。
事業報告会及び説明会 独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成24年2月18日(土)	青少年国際交流推進センター 会議室				